

活動実績報告書

平成26年 4月16日

登録番号 2013565

氏名 日高将孝

1. 活動状況 平成25年4月 ~ 平成26年3月

(1) 活動の概要

平成25年度は、住友林業株式会社(以下、「住友林業」)に研修職員として出向しており、全国の行政からの依頼を受け、様々なコンサルティング業務(主に行政支援)に携わった。

その中で、奈良県十津川村(以下「十津川村」)は、十津川村独自の計画「森林基本計画」の実現に向けた実践活動を推進するため、住友林業と委託契約を締結。住友林業は「人材育成」や「森づくりの方針・手法の策定」の取組を展開。私もその一員として下記の活動を行った。

- ① 団地化・集約化作業のための合意形成業務
- ② 作業システム構築・路網開設の支援
- ③ 木材流通システムの構築支援

(2) 当該活動を挙げた理由

- ① 住友林業の行っているこれらの総合的な取組は、「地域森林管理からの視点」、「市町村行政への指導」、「人材育成への関与」、「木材自給率の向上」等、森林総合監理士が行うべき重要な業務(地域の森林整備の牽引車)が含まれていること。
- ② この取組は、自分にとって森林総合監理士としての類似体験であり、その知識・能力をフルに発揮し、「新しいものを創り出す取組」であること。また、宮崎県に戻り、森林総合監理士として活動する上で、「非常に有効的な取組」であること。

(3) 当該活動における立場と役割

- ① 業務遂行と統括的立場
 - ・ 委託業務に関する契約業務や仕様書作成を担当し、住友林業の現地林業専門技術者(以下「常駐職員」)、私の上司とで全体を業務統括。
 - ・ 定期的に十津川村に出向き、役場職員への指導や現地立会、地域説明会に参加。
 - ・ 常駐職員が、業務を現地で実践する際は、十津川村に出向き補助を行う。
- ② 住友林業への指導、助言
 - ・ 市町村、森林組合等に対する指導や森林所有者への普及指導している経験が不足している職員に対し、チームにおける唯一の行政職員として、指導・助言等を行う役割を兼ねた。

(4) 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

【問題点・課題】

- ① 境界確定・集約化の加速化(森林の境界確定、定期的な意見交換の場の設置等)
- ② 人材育成の急務(役場、森林組合、林業事業体等)
- ③ 新たな作業システムの構築と路網開設

【具体的対応策】

- ① 十津川村の林業に関わるメンバー(十津川村、県出先事務所、森林組合、地元林業事体、住友林業、村が任命している林業専門顧問)の構成による「十津川村森林整備集約化協議会」の組織を立ち上げた。
協議会設立後、境界確定、集約化を行う「モデル地区」を設定し、モデル地区内の森林所有者情報の整理収集、森林所有者への呼びかけや不在村森林所有者探索、境界確定立会を関係機関が連携して行うことで、取組が進んだ。
- ② 十津川村の構想「6次産業化」構想は、宮崎県諸塚村の「林業立村構想」と一致する部分が多く、十津川村の参考になると考え、役場、森林組合、林業事業体の職員を諸塚村へ派遣。

特に、作業道の開設における考え方、維持管理方法、集約化などの現地研修を行うとともに、住友林業社友林の取組(コンテナ苗木生産、路網開設等)に関する現地研修を行った。研修では技術面だけでなく、諸塚村が一体となった取組を学ばせることができた。

- ③ 住友林業の作業班を十津川村に派遣し、十津川村有林をフィールドとして、住友林業のタワーヤダを用いた作業システムの実演、森林組合、林業事業体の作業班に対するOJT研修の実施。

(5) 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

【課題】

- ① モデル地区による優良事例づくり。森林所有者へのわかりやすい説明。
- ② 十津川村の取り組んでいる状況の整理。
- ③ 災害に強い道づくり「十津川式作業道の構築」

【今後の改善策】

- ① 境界明確化作業の加速し、集約化、森林経営計画の策定を進める。森林所有者に対しては、境界確定や集約化といったキーワードをはっきりさせ、わかりやすい説明方法に努める。管理方法などの議論を重ね、集約化への機運を高める。
- ② 取組、方針、優先順位、手順、役割分担を明確にし、どこに人材を投入すべきか、マネジメントのやり方を提案することが改善点。
- ③ 村道で「ジオテキスタイルを用いた補強土壁工法」を参考に、林業専用道、森林作業道への活用。

2. 研修の受講状況

研修名 准フォレスター研修 平成24年8月、10月
(実施主体) 林野庁

研修名 森林施業プランナー研修 平成26年2月
(実施主体) 和歌山県・マルカ林業株式会社

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- ・「持続的森林経営確立総合対策実践事業 意見交換会」(シンポジウム)の企画、運営、講師としての参加、及び広報誌等への投稿
- ・第125回日本森林学会(木材利用学会)での発表「森林所有者の森林所有への意識改革のための啓発ツール～プロモーションビデオ作成～」
- ・豊田市木材利用勉強会への講師としての参加
- ・シンポジウム等への参加
 - 「森林の再生～林地境界と路網整備の法的課題」(東京弁護士会)
 - 「山村振興と木質バイオマスエネルギー」(東京農業大学)
 - 「先進的林業機械緊急実証・普及事業 全国シンポジウム」(林野庁・自然産業研究所)
 - 「共同研究会「架線集材の将来像」」(高知県、和歌山県)
 - 「2020年へ向かう森林と木を活かす「グリーンエコノミー」」
 - 「津軽流域森林・林業講演会」(青森県中南地方県民局)